

おおたの未来づくり 単元計画シート

調布大塚小

単元名	持続可能な社会で活躍する自動車をつくろう		学年	第5学年
内容	A_ものづくり	(ア)新商品の企画提案型	総時間数	25
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の開発や販売の体験をもとに、企業が利益を追求するだけでなく、企業理念に基づいて環境や社会、人々の生活に配慮した価値づくりを行っていることを理解する。 ・実社会の課題をふまえて自動車づくりを構想し、模擬販売を通してよりよい社会の実現に向けて行動しようとする実践的な態度を養う。 ・利益の追求と社会への還元の両立の難しさについて考え、経済と社会とのかかわりを多面的にとらえる力を育む。 			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・六郷工科高等学校とHICの最新のものづくりの見学から、人や環境に対し商品を開発する企業の思いについての理解を深める。 ・インフィニウムジャパンの講話を通して、持続可能な社会で活躍する自動車の設計に必要な条件に付いての情報を収集・分析しコンセプトを設定する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・都立六郷工科高等学校 ・羽田イノベーションシティ ・インフィニウムジャパン株式会社
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能な社会で活躍する自動車」となりうるデザインをするために必要な内容・方法に関する知識・技能を身に付ける。 ・コンセプトにあった機能、効果、外観、キャッチコピーなどによるデザインを考える。 ・芝信用金庫の講話から、会社の運営や商品開発に必要なお金の知識を学び、予算を踏まえて費用対効果や実現可能性について考えながら自動車をデザインする。 			・芝信用金庫
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインした自動車をプレゼンテーションにしてまとめ、商談体験会でわかりやすく伝えるために必要な内容・方法に関する知識・技能を身に付ける。 ・「持続可能な社会で活躍する自動車」の提案に向けた準備に自他の良さを生かして役割を分担するなど協働的に取り組むとともに、プレゼンテーションへのインフィニウムジャパンや保護者からのフィードバックを受け止めて取り組みを振り返り、価値や改善点を見いだす。 			・インフィニウムジャパン株式会社
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討すること。 		3
国語	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 		3
算数	データの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすこと。 		2
理科	物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・電流がつくる磁力について追及する中で、電流がつくる磁力の強さに関係する条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。 		3
社会	工業	<ul style="list-style-type: none"> ・製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。 		6

図工	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。 ・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。 	2
家庭	消費生活・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解すること。 	3
総合		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。 	3